

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

別添資料11

公表:令和7年3月20日

事業所名 MyStepジュニア 都島教室

保護者等数(児童数) 56 回収数 41 割合 73 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	35	3	1	2	中を見る機会がない。	法令に準じスペース確保していますが、プライバシーに配慮しつつご覧いただく機会を検討します。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	32	4	0	5	先生により指導能力に差があると感じる。	継続的な研修を通じて、質の高い支援を提供できるよう専門性の向上に努めます。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	11	6	10	14	必要な利用者がいないと思う。	必要に応じて補助を行うことや設備改善に努めます。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	39	1	0	1		今後も適切な個別支援計画の作成に努めます。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	33	3	1	4	子どもの苦手な部分を重点的に見てくれている。	モニタリングの時間等を活用し、支援の目的・内容・方法について、適切な情報伝達に努めます。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	4	19	17		必要に応じて検討します。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	39	2	0	0		丁寧な説明を心掛けます。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	37	4	0	0	良い点、改善点を指摘してくれる。	お迎え時の支援内容を伝達する時間を活用し、情報の共有に努めます。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	33	6	1	1	生活と勉強のアドバイスがありがたい。	必要に応じて行うほか、モニタリングの機会等を利用して対応します。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	8	16	16		会報の発行等を含め、定期的な開催を検討します。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	32	4	1	4	毎回相談に乗ってくれる。	苦情発生の際は、正確な聞き取りを行い、迅速かつ適切な対応を行います。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	36	2	0	3	振替を希望した際の返信が少し遅いと感じる。	チャット等を活用し、情報を迅速に伝達するように努めます。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	29	6	1	5		必要に応じて、情報発信の拡充を検討します。
14 個人情報に十分注意しているか	36	1	0	4	第三者に聞かれるため、玄関で名前を言うことに抵抗がある。	必要に応じて、名乗ることに抵抗のある方への配慮を検討します。	
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	22	9	2	8		マニュアルおよび避難場所について、定期的にご案内します。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	22	7	2	10		定期的な防災訓練を今後も実施します。

満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	28	13	0	0	内容が難しいため後ろ向きな日もあるが、将来のために必要なことだと理解している。	通所の目的を共有しつつ、効果のある支援に努めます。
	18	事業所の支援に満足しているか	38	3	0	0		支援に関して、様々な観点を踏まえて総合的にご理解いただけるよう、丁寧な説明に努めます。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。